

福祉とさちよう



NO. 108
令和3年7月発刊



防災活動は福祉活動！

いざという時、まず頼りになるのは、地域の助け、そのためには、日ごろのお付き合いが大切です。地域で行われる行事など普段のちょっとした集まりに参加することで防災活動につながります。

地蔵寺は6月15日に自主防災組織による防災訓練が行われ、大谷でも6月20日に防災学習会が開催されました。また、中島で行われている「カレーの日」の活動も防災につながりますね。

人が集まれば、「あったかに来てみんかね。話をするだけで気が晴れるぞね」「めったによう会わんけど元気やったかね」「まあ！子どもさんおおきくなったねえ」「今年はジャガイモがようけできたぞね！」こんな会話が聞こえてきます。

防災活動の一步は「参加」です。

災害が
おこいません
ように…



社会福祉法人 土佐町社会福祉協議会

〒781-3401

土佐町土居 206 保健福祉センター内

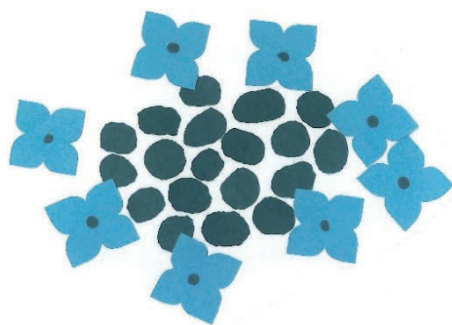
電話 82-1067 82-1069 (FAX)

メールアドレス tosasameura@shirt.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.tosa-shakyo.or.jp>



令和2年度事業報告



法人運営部 地域福祉活動の基盤は、「つながりづくり」です。しかしコロナの感染拡大や長期化によって、人と人とが互いに距離をとり、接触する機会を減らすことが強く求められたため、地域福祉事業のほとんどが影響を受け、中止や延期を余儀なくされました。誰もが経験したことのない状況とはいえ、「何をすべきか」土佐町社協にとって苦悩の年となり、地域における支え合いや在宅生活支援の必要性を再確認する年度となりました。サービス利用者の感染予防対策はもとより、職員のコロナの感染を予防するため、職務における対応及びサービス利用者や地域活動への感染予防のためのパーティション・消毒類・PCR検査キット等の購入、さらには、職員の感染を想定したシュミレーションを行う等危機管理に努めました。

一方、働き方改革に伴うパートタイム・有期雇用労働法が施行されたことにより、嘱託職員・パート訪問介護職員の処遇改善や福利厚生の充実に努めてきました。働きやすい職場環境をつくり、処遇改善を機に、安定的な職員の確保に向けて一層取り組みをすすめていく必要があります。



在宅福祉部 訪問介護は新規の利用者が増え、全体のサービス量も増えてきましたが、訪問介護員の確保が進んでおらず「住み慣れた家で暮らしたい」という願いを叶えるためにも一層の取り組みが必要です。

昨年度に引き続き、生活支援・介護予防連絡会の実施、地域・在宅福祉部・地域包括支援センターとの連携により、他の制度を利用してもなお、「生きづらさ」を抱えている方々への対応も含め、個別支援に力を注いできました。

中でも、令和元年から開始した社会参加応援事業はこれまで5名が利用し、就職につながった例もあり、制度の狭間にある方々への支援をつくりだしていくことが今後も重要であると考えます。さらに、老人給食を見直していくために、民生委員児童委員協議会等と連携して、見守り訪問や聞き取り調査等を実施し、「老人給食の在り方」について検討会において協議をすすめ、令和3年度から新たな見守り活動として展開してまいります。

地域福祉部 ボランティアセンターでは、地域に呼びかけ、マスクの縫製ボランティアを募り訪問の際にマスクを配布するなど、地域のつながりを絶やさない取り組みをしました。

コロナにより遠距離に住む家族の支援が低下することを予想し、訪問活動を強化して、聞き取り調査を実施するなど、生活課題等の状況把握に努めました。

社会的研究において、社会参加の頻度と健康指標の関係が明らかにされつつあり、コロナによるとじこもりが、ひいては要介護状態を悪化させることも立証されております。試験的な取り組みとして老人クラブ等と連携し、あったかふれあいセンターにおいてWEBを利用した、対話実験や買い物支援を試みており、新たなつながりづくりをすすめ、心の交流を絶やさない活動を展開していくように努めました。

さらに、地域福祉活動計画推進においても、コロナの影響で地域支援金の利用に至らず、各地区での具体的な取り組みも鈍化しましたが、森地区においては活動組織が結成されるなど、地域活動基盤が整備されつつあります。令和3年度は各地域活動の支援強化に取り組んでいく必要があります。



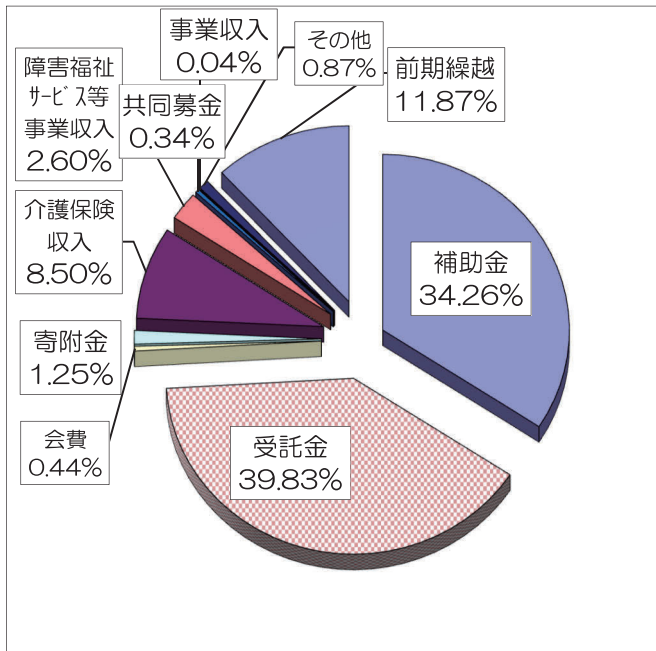
■事業報告、決算報告等は、社協事務所にてご覧いただけます。また、インターネットでは土佐町社協ホームページ、WAM NET 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムで検索してください。

収 支 報 告

収入の部

合計金額

93,924 千円

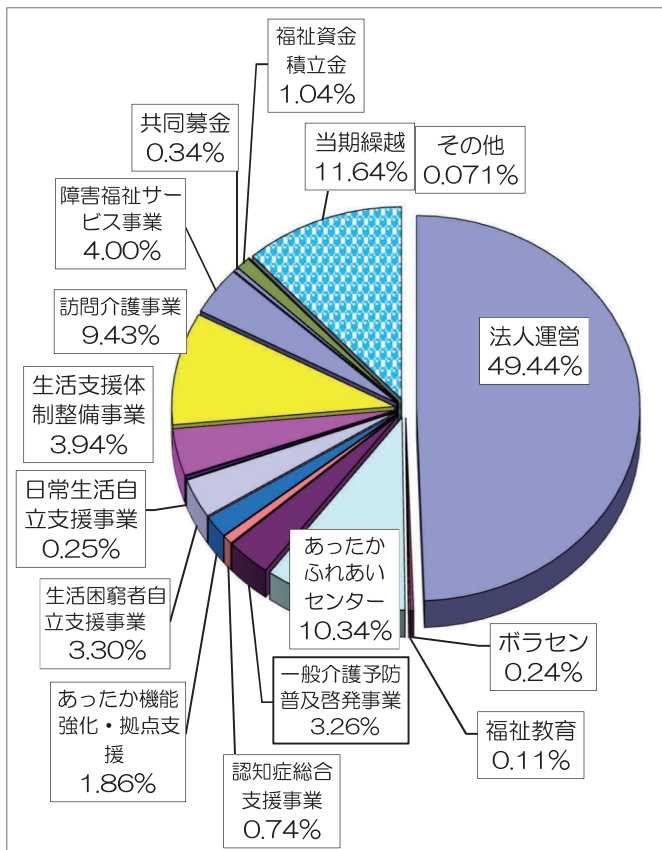


補助金	32,174 千円
受託金	37,407 千円
会費	413 千円
寄附金	1,173 千円
介護報酬等	7,986 千円
障害福祉サービス	2,446 千円
共同募金	320 千円
事業収入	33 千円
その他	819 千円
前期繰越金	11,153 千円

支出の部

合計金額

93,924 千円



法人運営費	46,434 千円
ボランティアセンター	222 千円
福祉教育	100 千円
あったかふれあいセンター	9,710 千円
一般介護予防普及啓発事業	3,061 千円
認知症総合支援事業	698 千円
あったかふれあいセンター(機能強化/拠点支援)	1,749 千円
生活困窮者自立支援事業	3,099 千円
日常生活自立支援事業	233 千円
生活支援体制整備事業	3,705 千円
訪問介護事業	8,856 千円
障害福祉サービス事業	3,759 千円
共同募金	320 千円
福祉資金積立	974 千円
その他	67 千円
当期繰越金	10,937 千円



実施事業

福祉教育・ボランティアセンター事業・一般介護予防普及啓発事業・認知症総合支援事業
 訪問介護事業（介護保険・日常生活支援総合事業）・障害福祉サービス事業
 相談支援事業（障害者・児）・生活困窮者自立支援事業・日常生活自立支援事業
 あったかふれあいセンター事業・生活支援体制整備事業
 あったかふれあいセンター機能強化・拠点支援事業・訪問活動・地域の集い活動支援
 心配ごと相談所・総合相談窓口・広報活動・団体事務局・その他福祉事業

役員紹介

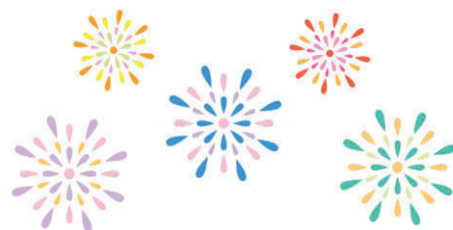


令和3年6月16日に開催された評議員会において、理事・監事が選任されました。鈴木琴栄さんが退任され、西村景男さんが新たに理事に加わり他の理事・監事は再任されました。何卒宜しくお願い申し上げます。

町では、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みが推進されております。中でも、「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」などの目標はまさに土佐町社協の目標とすることでもあります。役職員一丸となって、行政と社協との両輪で福祉の充実に向けて、取り組んでまいります。一層のご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

理事 法人の業務執行を担います。

会長	山下 秀雄	（やました ひでお）
副会長	川田 勝	（かわだ まさる）
副会長	西村 景男	（にしむら けいお）
	伊藤 楯男	（いとう たてお）
	伊藤 資子	（いとう もとこ）
	筒井 京野	（つつい けいの）
	川村 龍象	（かわむら りょうそう）
	川田 美代子	（かわだ みよこ）
	矢野 信子	（やの しんこ）
	和田 豊	（わだ みのる）



監事 業務執行を監査します。

筒井 宏幸	（つつい ひろゆき）
重光 良一	（しげみつ りょういち）

評議員 執行機関である理事会から提出された決算承認等の重要事項を審議します。

谷川 禮子	（たにがわ れいこ）
川村 房子	（かわむら ふさこ）
細川 静江	（ほそかわ しずえ）
筒井 和雄	（つつい かずお）
小林 聖花	（こばやし せいか）
明坂 賢治	（あけさか けんじ）
岡本 明子	（おかもと あきこ）
稲村 章	（いなむら あきら）
和田 京子	（わだ きょうこ）
近藤 裕司	（こんどう ゆうじ）
伊藤 祐子	（いとう ゆうこ）
井手 正	（いで ただし）



第6次地域福祉活動計画

地域の皆様からお寄せいただいたご寄附の一部が地域福祉活動に役立てられています



令和3年度は、5つの地域より地域福祉活動支援金の申請があり、審査を経て交付が決定しました。それぞれ計画している取り組みについては次のとおりです。

旧和田小学校区

- 【団体名】和田を元気にする会
(代表 和田 勇)
- 【助成金額】100,000円
- 【活動目標】和田を元気にする会を中心に皆で話し合い、和田の地域づくりを具体化させていこう
- 【活動内容】和田コミュニティセンターを中心に環境美化活動や花壇への草花の植栽等を行う。また、行政や社協と、地域について話し合う場を3ヶ月に1回持つ



旧平石小学校区

- 【団体名】平石地区
(代表 西村 尚)
- 【助成金額】200,000円
- 【活動目標】地域の維持に向けた話し合いをしよう
- 【活動内容】「今いる人みんなが元気で、地域で変わらず生活できる」ことを活動のゴールとし、今年は、コロナ禍で減少した地区住民の交流の場をつくるべく、町内事業者の協力を得て軽食・スイーツなどを楽しめるイベントを実施する



旧瀬戸小学校区

- 【団体名】黒丸地区
(代表 仁井田 亮一郎)
- 【助成金額】106,000円
- 【活動目標】地域に住む人同士が見守り助け合い、出来る限り今の生活を維持していこう
- 【活動内容】“おとな食堂”を年6回開催し、世代を超えた親睦・交流の場づくりを行う



旧田井小学校区

- 【団体名】カレーの日実行委員会
(代表 山中 泉夫)
- 【助成金額】110,000円
- 【活動目標】地域住民のつながりを高めていこう
- 【活動内容】4~11月まで毎月1回「カレーの日」を実施し、地域内の交流の場を作る。また、防災学習も取り入れながら、地域のつながり作りを進めていく



旧地蔵寺小学校区

- 【団体名】地蔵寺自主防災組織
(代表 山下 有司)
- 【助成金額】106,920円
- 【活動目標】地域の防災を考えよう
- 【活動内容】毎月1回防災の日として各戸でのぼり旗を掲げ、地震や風水害から身を守る為、「備える意識」を啓発する。また、年1回は防災訓練を実施する



求めています

パート
非常勤

訪問介護員

ホームヘルパー

募集内容

- 資格： 介護職員**初任者研修修了**あるいはホームヘルパー**2級**以上を取得している方
普通自動車免許（AT・MT 問いません）
- 仕事内容： **土佐町内**の在宅要支援者・要介護者等の**お家に訪問**しサービス（身体介護・生活援助・障害者居宅支援）を提供します
・月曜日から金曜日（土日也大歓迎）で希望を伺います
・午前8時30分から、午後5時15分までの内で勤務可能な時間帯で調整します
- 賃金： **時給1,200円**
交通費、諸手当は別途規定により支給します
- 採用選考： 面接にて選考します（随時対応）
履歴書、運転免許証（写）、資格者証（写）を準備して、社協へご連絡ください

食事の準備（調理）や
掃除のお手伝いが多いです



仕事に慣れるまでは先輩
ヘルパーが同行訪問しま
すので安心してください

社会福祉協議会が福祉サービスの 利用などをお手伝いします。



どんなことを
してくれるの？

福祉サービスを利用する際の手続きや契約、預金の出し入れ、生活に必要な利用料などの支払い手続きや年金証書、預金通帳など大切な書類の管理などをお手伝いします



福祉サービスって何？



『日常生活自立支援事業』
といいます



介護保険制度などの高齢者福祉サービス、障害者自立支援法による障害福祉サービスなどです。例えばホームヘルプサービスやデイサービス、就労支援や外出支援サービスなどさまざまなものがあります

相談からサービスの提供まで、

社会福祉協議会が お手伝いします



日常生活自立支援事業は、社会福祉協議会が実施しています

相談からサービスの提供にいたるまで、「専門員」「生活支援員」があなたのところにかがいます【相談は無料、支援は1時間1,500円の利用料が発生します】

専門員の役割

困りごとや悩みごとについて相談を受けます。そしてご本人の希望をもとに適切な支援計画をつくり、契約までサポートします。サービスの利用を始めてからも、支援計画を変えたい場合や心配な点があればいつでも相談にうかがいます

生活支援員の役割

契約内容にそって、定期的に訪問します。福祉サービスの利用手続きや預金の出し入れをサポートします

コロナ禍
だからこそ

令和3年度トレーニングサポーター養成講座

フレイル予防教室

フレイル予防に取り組んで、筋力・免疫力アップを目指しませんか？
家事や仕事の間のちょっとした時間をつかったエクササイズなど、続けて
できる内容をご紹介します。ぜひご参加ください。

①令和3年 7月8日（木）

暮らしの中でとり入れよう
5つのエクササイズ

※終了しました

②令和3年 8月13日（金）

口腔ケアと美顔体操

③令和3年 9月10日（金）

呼吸と姿勢を整えて
不調を軽減しよう

④令和3年 10月1日（金）

続けていますか？
5つのエクササイズ
ビフォーアフターを体感！握力測定実施

【会 場】 土佐町保健福祉センター あじさいホール

【時 間】 13:30~14:30

【講 師】 健康運動指導士 前田 郁 さん

【対 象】 関心のある方ならどなたでも！

【その他】 マスク着用の上、水分補給のための飲み物をご持参ください。
会場入り口にて、検温をお願いします。

【申込み・問合せ先】 0887-82-1067 土佐町社会福祉協議会

健康パスポート
シール青・緑
各1枚を配布します

地域やグループで体操教室（てくてく体操）を始めたい方を大募集！！

ご自身はもちろん、地域が元気になるために始めませんか？
自分たちで継続した開催ができるようサポートします。

【内 容】 てくてく体操（筋力トレーニング）

【開 催 日】 月1回程度

【開催場所】 地域の集会所又は自宅など

【支援内容】 体操グッズ配布（CD又はDVD、スタンプ手帳、はんこ、てくてくタオル）
開始約6回までは職員が出向いて体操をサポートします。

まずはご相談下さい！



この事業は町より委託を受け介護予防普及啓発事業の一環で実施します



ボランティアセンター

家庭や地域でできる“備える防災”

明日起こるかもしれない南海トラフ大地震。近年多発しているゲリラ豪雨に大規模台風。まったなしにやってくる災害に家庭や地域でできる準備をして、いざと言う時に備えましょう！



まずは自分で できること **自助**

まずは自分の命を守るための準備や行動をとりましょう。町が出す避難情報と国や都道府県が出す防災気象情報を知り避難に活用しましょう。事前の準備として避難時の持出し品の準備や、危険箇所や避難経路、避難場所の確認、安否確認の方法を家族で共有するなど、日頃から備えておくことが大切です。



地域の助け合い **共助**

過去の大規模災害時には住民同士の救出活動が行われ被害拡大を押さえられた例があります。平常時から地域の声かけや地域の関係づくりがいざという時も役立ちます。

地域の危険な場所や役立つものについて情報を共有したり、地域で行われている避難訓練や防災学習会に参加することで、地域の防災力を高めることができます。

大谷地区の
防災学習会を
ご紹介



大規模地震が発生したことを想定し、大谷地区の地区防災計画に基づき各班がどのような活動をするのかをイメージし、役割や必要な備えを確認しました。安否確認の方法や、水道が使えなくなった時の水源地の確認、トイレの汚物処理方法、必要な物品などスライドを熱心に見ていました。参加者からは「イメージすることで、準備が足りていること、足りてないことなど具体的に考えることができた」との感想がありました。

災害ボランティアセンター

大規模災害が起きた時、町が設置する災害対策本部と協議し災害ボランティアセンターが立ち上がり、地域の協力を得ながら、復旧、復興に向けて動いていきます。また町外から防災ボランティアが駆けつけ支援を受けることもあります。

災害ボランティアセンターは被災による困りごとの受付、ボランティアの受入れ、調整などを行います。住民のみなさんには、地域の困り事などの把握、ボランティアの受け入れやボランティア活動へ協力などをお願いします。

杜協 出前講座！

地域やグループで防災について学んでみたい！といったことがありましたら、まずはご相談ください。開催内容や講師、感染症予防対策など一緒に考えます。



ちょっといい話

「トキワ苑」の癒しの存在～犬も人間も幸せに生きる～



名前：ゴンタ
年齢：8歳
性別：オス
性格：人懐っこい、大人しい
さみしがりや
クセ：人の体にピタッとくっついてくる

ゴンタは去年の7月に犬猫の保護団体から譲り受け、特別養護老人ホーム「トキワ苑」にやって来ました。

ご利用者の皆さんは「かわいいねえ」「おやつやろうか？」と話しかけたりなでたり、素敵な笑みがこぼれていました。施設に来る前は犬が好きではなかったが、ゴンタと触れ合うことで大好きになったという人もいて、ご利用者の心身の変化も見られています。

職員もゴンタを見かけると自然と笑みがこぼれており、朝と昼の散歩も取り合いにもなっているほど、みんなゴンタのことが大好きです。



おいで～♡



ゴンタも車いすが通る時にはよけて通ったり、尻尾を踏まれても怒らずにじっと座っていたりと、ご利用者をそっと見守っています。

みんなからたくさんの愛情をもらって、今日も癒しを与えています♪



ひよこぐみ写真館

78号



お姉ちゃん
ゆい

結衣ちゃん

お姉ちゃん
まお

真央ちゃん

ひよこぐみ写真館募集中です！
詳しくは土佐町社協へお問い合わせ
ください！

田井

わだ
和田

えいた
瑛太くん

令和元年7月2日生まれ

これからみんな仲良く、
すくすく大きくなってね。

けんた
パパ 健太 さん
ひでか
ママ 秀華 さん



土佐町社会福祉協議会 公式サイト



社会福祉法人
土佐町社会福祉協議会

ホーム

組織概要

サービス内容

募金・ご寄付

職員採用・各種募集

資料

お問い合わせ



公式サイト開設しました。QRコードでサイトページへ！



杜協への福祉のご寄附

自：R3. 4. 1

至：R3. 6. 30

地区名	氏名	金額	備考
上地蔵寺	近藤正子様	50,000	香典返し
上地蔵寺	上田彰様	100,000	香典返し
中村	上友商店様	100,000	香典返し

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。



日本赤十字社 土佐町分区

赤十字活動資金の募集にご協力いただきありがとうございました！

コロナ禍で大変な中、地域の皆様をはじめ、多くの企業・事業所の方々にご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

皆様からご協力いただきました、555,950円（6月末現在）高知県支部に全額送金いたしました。

この募金は、災害救援や献血事業など、日本はもとより海外においても、多くの人命を救う為に使われています。土佐町への交付金は、災害に関する研修、防災用品の購入や防災訓練等の地域活動に活用されています。

今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日赤中央東地区で災害時炊き出し用移動式かまどを購入しました



口径617mm×高さ540mm(容量34ℓ)
50～100人に対応できます

令和2年度に、嶺北4町村の日本赤十字社分区からなる日本赤十字社中央東地区にて、災害時はもちろん、イベントや炊き出し訓練などにて活用しようと、移動式かまどを購入しました。

各町村への貸し出しもできます。仕様の詳細や、訓練等ご検討の際には日本赤十字土佐町分区事務局（82-1067）までご連絡ください。



令和3年度

杜協会費のご協力をお願いします

住民の皆様と共に「ここにおいてよかった」と言えるまちづくりをめざし、役職員一丸となって福祉事業に取り組んでいます。

福祉教育や杜協運営の資金に活用させていただいています。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

